

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	開頭クリッピング術時のくも膜形成による生理的脳脊髄液循環維持およびくも膜下血腫の消失促進に伴う脳血管攣縮予防効果の検討			
2. 対象患者	2006年以降、くも膜下出血に対し開頭クリッピング術を施行した症例 1) 16歳から80歳で性別は不問。 2) くも膜下出血発症72時間以内に手術されている。 3) 術前後に頭部CTおよび血管評価が施行されている。			
3. 対象となる期間	平成 18年 1月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日			
4. 実施診療科等	脳神経外科			
5. 研究責任者	氏名	奈良岡 征都	所属	脳神経外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任)	なし			
7. 研究の意義	脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血は脳神経外科における最も重要な疾患の一つです。その予後を左右する脳血管攣縮を予防し、治療することが重要です。			
8. 研究の目的	開頭クリッピング術中のくも膜形成によって髄液の生理的循環が維持されているか、また、くも膜下血腫の消退が促進されたかを後方視的に検討します。。さらに、くも膜下血腫消退促進により、脳血管攣縮を予防しえたかどうか検討します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	術前後に施行した頭部CTからくも膜下出血の血腫量を算出して比較する他、脳血管攣縮(脳血管攣縮による脳虚血症状)の発生時、もしくは第7~11病日に施行する脳血管造影における脳血管攣縮の程度を判定します。判定によって数値化された画像上の血腫、脳血管攣縮および神経脱落症状を比較検討します。			
10. 個人情報の保護	担当医師等は症例報告書の作成、臨床研究の実施に係る原資料及び患者様の臨床データの公表に関しては、患者様の氏名、疾患が特定されないよう十分配慮いたします。画像等の臨床データ、個人情報等は研究責任者の監督の下、パスワードロックされた電子媒体で管理を行います。			
11. 利益相反に関する状況	本課題は弘前大学医学部附属病院脳神経外科の研究費により実施されます。研究代表者及び共同研究者に対して個人的な資金等の提供や便宜が行われることはなく、本課題は脳神経外科の研究グループによって公正に実施されます。また、本課題の利害関係については、弘前大学臨床研究利益相反マネジメント委員会に届け出ております。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院脳神経外科			
	電話	0172 - 39 - 5115	FAX	0172 - 39 - 5116